

# システム

Windows 11 の各種設定は、[スタートボタン]から[設定]をクリックして開かれる[設定]画面から行うことができます。ここでは、[設定]のうちの[システム]の設定内容について、その主なものを解説します。



## 1 ディスプレー

### (1) 明るさと色

#### ① 明るさ

画面の[明るさ]を調整します①。



#### ② 夜間モード

青色の光をブロックするために、暖色を使用します②。

→オンにすると、[強さ]③と[夜間モードのスケジュール]④を設定できます。



## (2) 拡大縮小とレイアウト

### ① 拡大／縮小

ディスプレイに表示するテキストやアプリのサイズは、100%から175%まで変更可能です。ノート PC では 125%が推奨されています<sup>①</sup>。



### ② ディスプレイの解像度

ディスプレイの解像度は、推奨の「1920×1080（推奨）」に設定しておきましょう<sup>②</sup>。

### ③ 画面の向き

通常は「横」にしておきます<sup>③</sup>。

### ④ マルチディスプレイ

2台以上のディスプレイを使って作業をする場合の設定です<sup>④</sup>。

## 2 通知

[通知]をオン<sup>①</sup>にすると、アプリやその他の送信者からの情報を通知領域に表示してくれます。



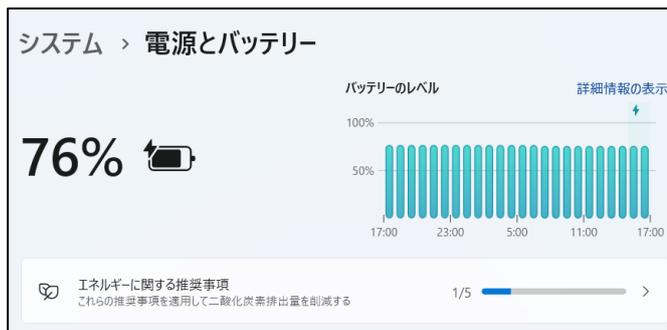
→通知を受け取るアプリ等の選択は、下部にある[アプリやその他の送信者からの通知]一覧<sup>②</sup>で[オン]にすることにより行います。

✚ 頻繁に通知が来て煩わしく感じられるアプリ等は[オフ]にしておきましょう。



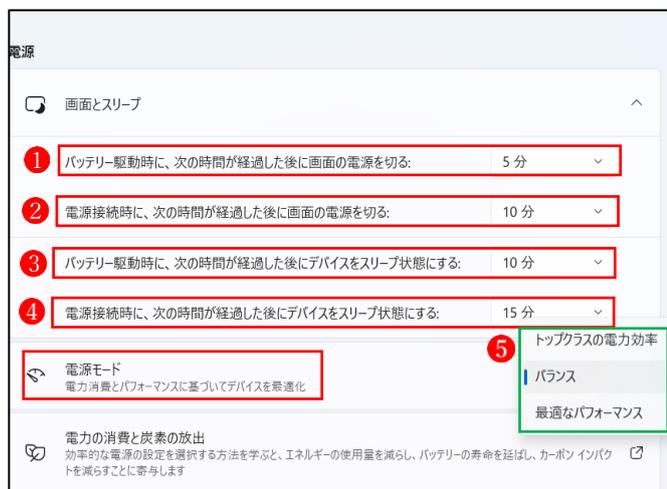
### 3 電源とバッテリー

ノートパソコンの場合は、電源とバッテリー画面の最上部に[バッテリーのレベル]が表示されています。



#### (1) 画面とスリープ

- ① [バッテリー駆動時に、次の時間が経過した後に画面の電源を切る]①  
→設定した時間経過後に画面の電源が切れるので、バッテリー消費の節約になります。
- ② [電源接続時に、次の時間が経過した後に画面の電源を切る]②  
→同上(消費電力の節約になります。)
- ③ [バッテリー駆動時に、次の時間が経過した後にデバイスをスリープ状態にする]③  
→設定した時間経過後に画面が消えてパソコンが休止状態になるので、バッテリー消費が大きく下がります。ただし、再び画面を表示するまでに少し時間がかかります。
- ④ [電源接続時に、次の時間が経過した後にデバイスをスリープ状態にする]④  
→同上(消費電力の節約になります。)



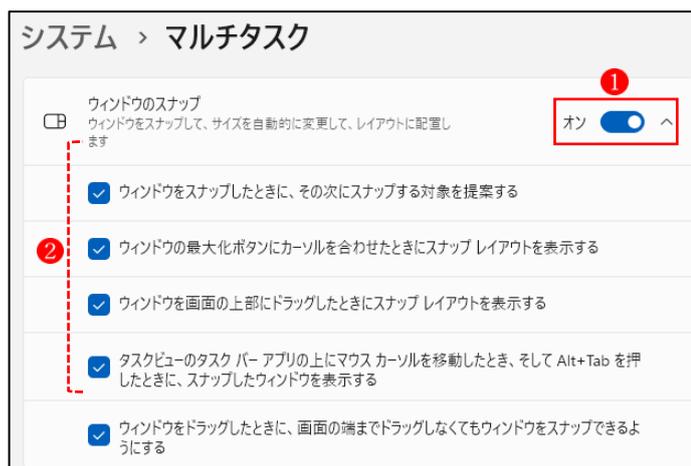
- ①～④のどれも消費電力を抑えるには有効ですが、「Windows Update」やアプリの操作中に画面が消えたりスリープ状態になったりすることがあるので注意する必要があります。
- バッテリーや消費電力にそれほど気を遣う必要がない場合は、①～④のすべての項目で、[なし]を選択しておくのがよいでしょう。

#### (2) 電源モード

自分のパソコンの使用状態から考えて、3つの選択肢の中から適当なものに設定しましょう。

#### 4 マルチタスク

マルチタスクでは、[ウィンドウの  
スナップ]だけを[オン]にし<sup>①</sup>、詳細項目はすべてにチェック<sup>②</sup>を入れておきましょう。



#### 5 クリップボード

- ① Windows でコピーや切り取りを行うとクリップボードにコピーされ、貼り付けることができますが、Word や Excel では、アプリ上に[クリップボード]を表示させておかないと、その効果は次のコピーや切り取りを実行するとなくなります。

- ② そういう場合に便利なのが[クリップボードの履歴]という機能です。この機能を[オン]<sup>①</sup>にしておくと、以前にコピーや切り取りをしたデータを呼び出して貼り付けることができます。



- ③ [クリップボードの履歴]の使い方

1. 以前にコピーや切り取りをしたデータを貼り付けたい場所にカーソルを置き、**[ウィンドウズキー+V]**を押します。
2. [クリップボード]の貼り付けたい項目をクリックします<sup>②</sup>。
3. カーソルのあった位置に貼り付けられます。
4. 履歴をすべてクリアしたい場合は、[すべてクリア]<sup>③</sup>をクリックします。



## 6 バージョン情報

[バージョン情報]をクリックすると、使っているパソコンの詳細な情報が表示されます。

- ① [デバイスの仕様]<sup>①</sup>では、[デバイス名 (パソコンの機種[、[搭載されているプロセッサ (CPU) 名]、[実装されているメモリの容量]などを知ることができます。

- ② [Windows の仕様]<sup>②</sup>では、[Windows のエディション]、[バージョン]、[インストール日]などが分かります。

システム > バージョン情報

To Be Filled By O.E.M. [この PC の名前を変更](#)

① デバイスの仕様 <sup>①</sup> [コピー](#) [^](#)

デバイス名	To Be Filled By O.E.M.
プロセッサ	Intel(R) Core(TM) i5-10400 CPU @ 2.90GHz 2.90 GHz
実装 RAM	16.0 GB (15.6 GB 使用可能)
デバイス ID	024E7FDB-260D-4F78-B900-26145F57C824
プロダクト ID	00326-11550-38085-AA319
システムの種類	64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ
ペンとタッチ	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません

[関連リンク](#) [ドメインまたはワークグループ](#) [システムの保護](#) [システムの詳細設定](#)

Windows の仕様 <sup>②</sup> [コピー](#) [^](#)

エディション	Windows 11 Home
バージョン	21H2
インストール日	2021/10/05
OS ビルド	22000.376
エクスペリエンス	Windows 機能エクスペリエンス パック 1000.22000.376.0

[Microsoft サービス規約](#)  
[Microsoft ソフトウェアライセンス条項](#)

## 7 システムの保護

パソコンは何らかの原因で突然動作不良を起こすことがあります。ソフトウェアをインストールしたり、新しいハードウェアを接続した結果、Windows との相性が悪くエラーが頻出して、パソコンの使用に支障が出ることもあります。

「システムの保護」は、そういう時のために復元ポイントを予め作っておき、不具合が発生する前に戻る事ができるようにする機能です。

Windows11 でシステムの保護を有効にして復元ポイントを作る方法について解説します。

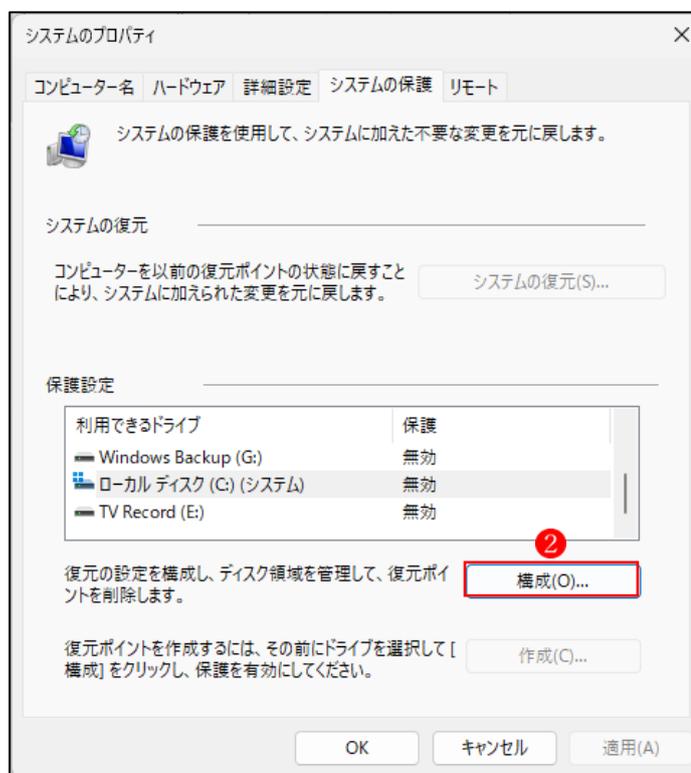
### (1) システムの保護を有効にする

復元ポイントを作るには、まずシステムの保護を有効にする必要があります。

- ① 「設定」から「バージョン情報」を開き、関連リンクの中にある「システムの保護」**①**をクリックします。

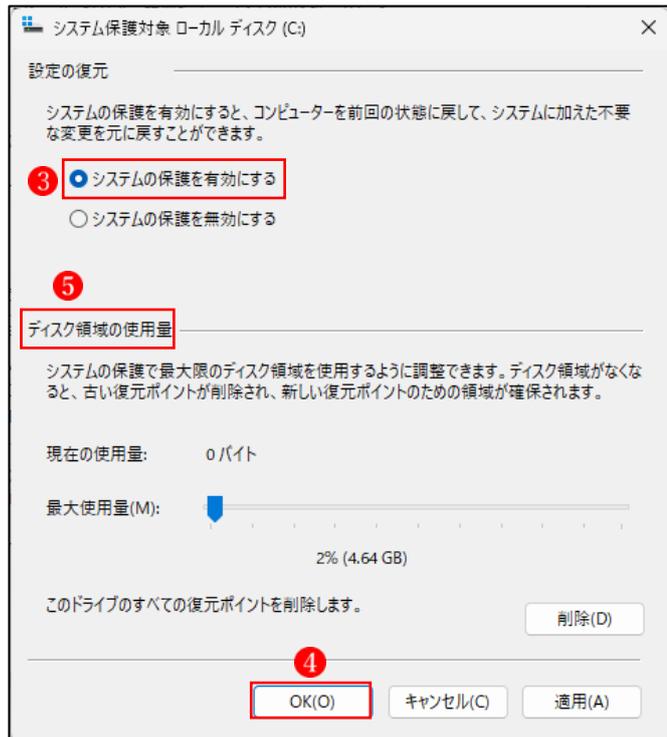


- ② 保護設定の[構成]ボタン**②**を押します。



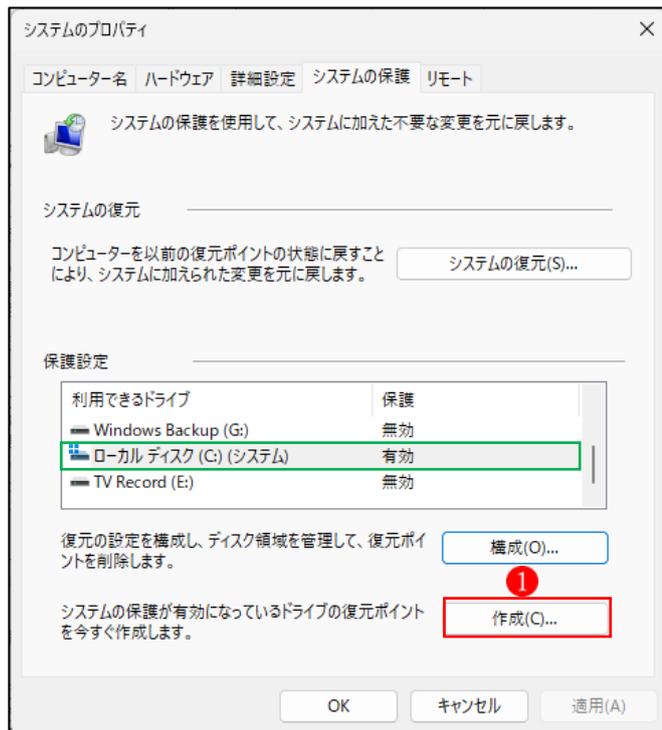
- ③ 「システムの保護を有効にする」<sup>③</sup>を選択して「OK」ボタン<sup>④</sup>を押します。

★ディスク領域の使用量<sup>⑤</sup>では、復元ポイントのために使用するストレージの最大使用量を設定できます。最大使用量のスライダーを左右に動かして調整します。最大使用量を上回ると、古い復元ポイントから削除されます。



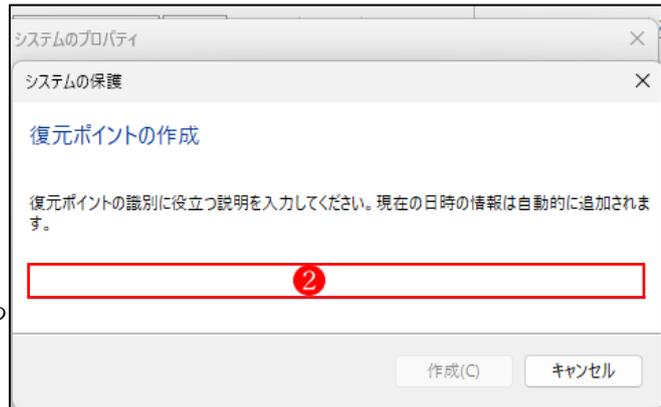
## (2) 復元ポイントを作成する

- ① 先程のシステムの保護の画面で、保護設定の「作成」ボタン<sup>①</sup>を押します。

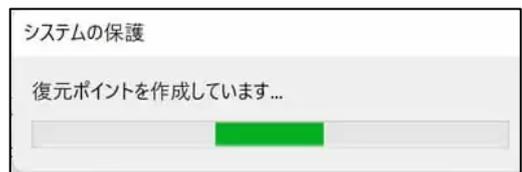


- ② 復元ポイントを作成する今がどうい  
う時なのか、わかりやすい説明を入  
力します②。例えば「〇〇をインス  
トールする前」などです。

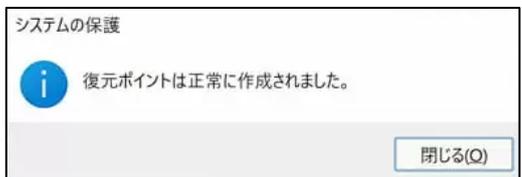
★ 復元ポイントを作る日時につい  
ては自動的に付加されますが、日時  
だけではどういう状態だったのかわ  
らないことがあるためです。



- ③ 復元ポイントの作成が始まります。

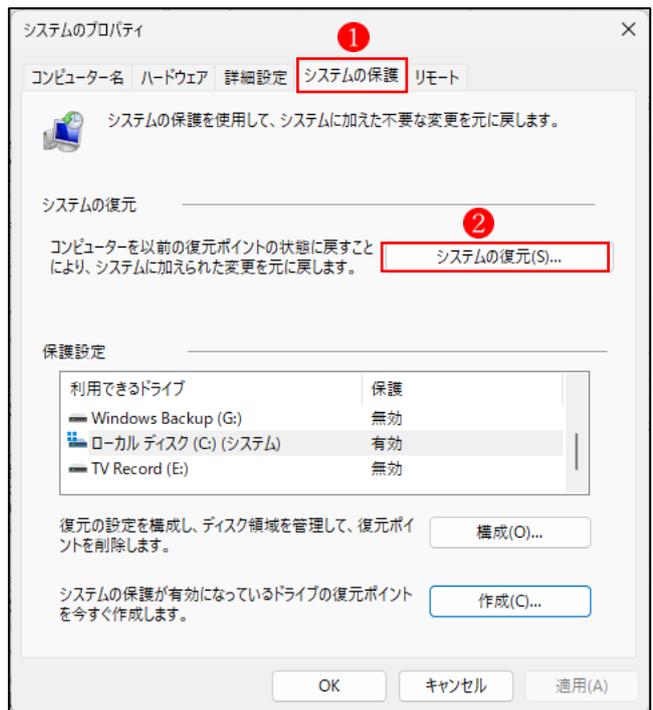


- ④ 「復元ポイントは正常に作成されました」と表  
示されたら完了です。



- (3) 復元ポイントを使ってシステムを  
復元する方法

- ① 「システムの保護」①のウィンド  
ウを表示し、「システムの復元」ボ  
タン②を押します。



- ② システムの復元ウィンドウが開きます。
- システムの復元を実行しても、それまでに作成したファイルは影響を受けません。ただし、インストールしたアプリやハードウェアのドライバーは消える可能性があります。

→内容を確認して「次へ」ボタン③を押します。



- ③ どの復元ポイントを使ってシステムを復元するか選択します。
- 「影響を受けるプログラムの検出」ボタン④を押すと、システムの復元によって消えるソフトウェアやアプリを確認できます。
- 復元ポイント⑤を選択して「次へ」ボタン⑥を押します。



- ④ 完了ボタン⑦を押すとシステムの復元が始まり、パソコンが再起動します。



- ⑤ システムの復元が完了すると、次のメッセージが表示されます。
- 「閉じる」ボタン⑧を押して終了します。

